

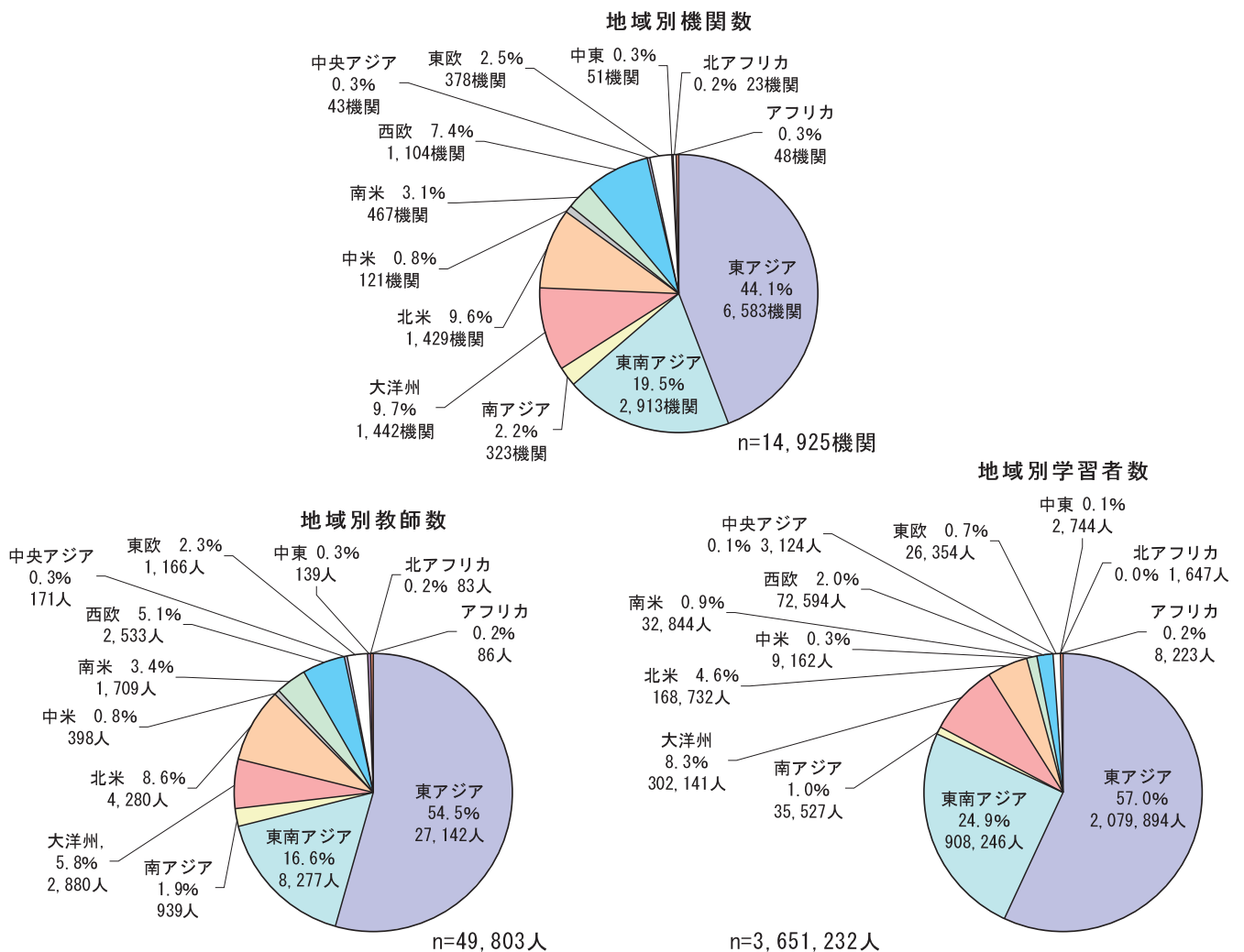
2. 地域別の日本語教育の状況

機関数、教師数、学習者数すべてにおいて東アジアが最も多い。
 学習者数は東南アジアと合わせると、世界全体の8割を占めている。

海外の機関数、教師数、学習者数を、13の地域に分けて分析した。

機関数、教師数、学習者数はいずれも東アジアが最も多く、機関数で44.1%、教師数で54.5%、学習者数で57.0%を占める。東アジアに次いで多いのが東南アジアで、学習者数で見ると東アジアと東南アジアで81.9%を占め、300万人に迫る人数となっている。(グラフ2 地域別機関数・教師数・学習者数の割合)

グラフ2 地域別機関数・教師数・学習者数の割合



※ <台湾>の(財)交流協会の調査の数値を含む。

※ 北アフリカ(地域別学習者数)は0.04%だが、小数点以下第2位を四捨五入しているため、0.0%と記載。